

委員による地域福祉に関する意見交換会について

実施日：①令和4年8月9日（火）、②31日（水）

参加者：①水野道子委員、水野美々子委員、浅井通正委員、加藤圭子委員、宗絵美子委員、寺西弘治委員

②水野道子委員、竹田晴幸委員、寺西弘治委員 ※委員名簿順

災害・防災

- ・市内でも地域ごとに意識が違う！
- ・普段から近所付き合いのあるところは結束力がある！
- ・小さな避難所の数が大事。市役所だけでなく地域の力で！
- ・防災に関する取組を地域で進めたいが、地元役員が変わって話が振出しに…。

移動支援

- ・高齢者のみ世帯、高齢者単独世帯の増加。身内も近所にいない。どうしたら？
- ・ニュータウンでは移動支援の試験運行、社協では車貸出しに取り組んでいる。
- ・病院の付添いは結構大変！付添いボランティア的なものがあればいいかも。
- ・高齢者だけでなく子育てしている方にも助けになる！

子どもの居場所

- ・放課後子ども教室の無い地区で、子どもが集まれる場所を作っている。学生ボランティアが手伝ってくれている。運営の人員確保が大変。
- ・プログラムは作らず、子どもの自主性を育てたい！

福祉人材

- ・事業所が急増する一方、人材育成が追いついていない！
- ・施設では無自覚な虐待が起きている。
- ・昔、ヘルパー資格取得のブームがあった。身近な資格として増えるといい！
- ・障がい福祉は就職先として敬遠されてしまう…。
- ・学生を巻き込みたい！

その他

- ・新住民も地域と関わりたいとは思っている。でも役を務めるのが億劫。
- ・新住民への関わり方が分からない。声をかけづらい。